

産業廃棄物処理実態調査票【その1】

調 査 票 番 号

調査会社記入欄のため  
記入しないでください。

1. 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。

2. 本調査の対象期間は令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）です。

3. 複数の浄水場をお持ちの場合は、浄水場毎に調査票を分けてご記入ください。

4. 調査票（その2）に貴事業所から発生する産業廃棄物の状況について記入してください。産業廃棄物が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票（その1）の「事業所の概要」、「事業の概要」欄をご回答の上、ご返送ください。

事業所の概要	事業所名										
	所在地										
	記入者	部署名					電話番号				
		フリガナ氏名									
メールによる回答をする場合、今後、本調査の調査対象となった際に送信アドレス宛にメールによる依頼をしてよい場合は、チェックしてください。											
<input type="checkbox"/> メールによる依頼可											

事業の概要	給水能力				給水量						
	令和7年4月1日現在の給水能力を記入してください。				令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間の給水量を記入してください。						
					千億	百億	十億	億	千万	百万	十万
	<div></div>				<div></div>						
	m³/日				m³/年						
給水対象人口（工業用水は除く）											
令和6年度中の給水対象人口を記入してください。他の給水源と併せて給水する場合は、貴事業場の自己水源による給水割合を併せて記入してください。											
<div></div>						人					
自己水源割合						<div></div> %					



令和6年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。  
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象としてください。

1. 発生した。

2. 発生しなかった。

次へ

「事業所の概要」「事業の概要」を記入し、返送してください。

裏面の調査票（その2）に貴事業所から発生した産業廃棄物等について記入してください。

産業廃棄物処理実態調査票【その2】

＜令和6年度実績＞

①事業所で発生した廃棄物の名称  
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。（別紙「廃棄物分類表」に示した具体例を参照）

②廃棄物の分類番号  
別紙、「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理する前の量）  
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

④自社での中間処理方法  
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤エネルギー回収の状況  
エネルギー回収をされている場合、利用方法に該当する番号を以下の項目から選び、記入してください。  
1. 発電 2. 熱利用

⑥中間処理後の量  
中間処理後の残さを記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

⑦処理・処分の方法  
発生した廃棄物（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の名称等  
処理・処分（⑦に該当する）等を行った先の名称を記入してください。

⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地  
処理・処分（⑦に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入してください。

⑩委託中間処理の方法  
⑦の「処理・処分の方法」で「u1」と回答された場合（中間処理を委託）は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑪委託中間処理後の再生利用・処分の方法  
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んでください。  
1. 再生利用・リサイクルしている。  
2. 埋立処分している。

⑫エネルギー回収の状況  
エネルギー回収をされている場合、利用方法に該当する番号を以下の項目から選び、記入してください。  
1. 発電 2. 熱利用

⑬資源化の用途  
⑦の「処理・処分の方法」で「v1,v2,w1,x1,r6」又は前問 ⑪で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

自社で発生した廃棄物等の発生量														
区分		①廃棄物の名称		②分類番号		③年間発生量								
F2	行番					百万	十万	万	千	百	十	一	単位	
記入欄	1												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	2												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	3												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	4												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	5												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	6												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	7												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	8												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	9												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	10												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	11												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	12												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	13												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	14												kg m <sup>3</sup>	t リットル
	15												kg m <sup>3</sup>	t リットル

自社での中間処理													
④方法番号			⑤エネルギー回収	⑥中間処理後量									
1次処理	2次処理	3次処理		百万	十万	万	千	百	十	一	単位		
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル
												kg m <sup>3</sup>	t リットル

自社処分・自社再利用、委託処理					委託中間処理			自社・委託での資源化		
⑦処理・処分の方法	⑧処理・処分先又は再生利用先の名称		⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地		⑩方法番号			⑪処理後の処分方法	⑫エネルギー回収	⑬資源化用途
					1次処理	2次処理	3次処理			
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		
			都道府県	市町村				1・2		

④中間処理方法コード表

A：焼却 B：脱水 C：天日乾燥 D：機械乾燥 E：油水分離 F：中和 G：破碎 H：分級 I：圧縮 J：溶融 K：切断 L：焼成 M：堆肥化 N：銀回収 O：コンクリート 固化 P：乾熱減菌 Q：煮沸 R：オートクレーブ S：薬物消毒 T：金属(鉄)回収 U：非鉄金属回収 V：濃縮 W：油化 X：選別 Y：固形燃料化 Z：その他

具体的に

⑦処理・処分方法コード表

<自己処理>  
V1：自社で再利用した。  
V2：売却できないものを自社で再利用した。  
W1：売却（利益があった）した。  
Z1：自社で保管している。  
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。  
X1：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。  
S1：処理業者の処分場で直接埋立処理した。

<市町村へ委託処理>  
R1：市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立した。  
R5：市町村の清掃工場で焼却等の中間処理をした。（ごみ収集を含む）  
R6：市町村の清掃工場でリサイクルした。

<その他>  
Z9：その他

具体的に

⑩委託中間処理方法コード表

A：焼却 B：脱水 C：天日乾燥 D：機械乾燥 E：油水分離 F：中和 G：破碎 H：分級 I：圧縮 J：溶融 K：切断 L：焼成 M：堆肥化 N：銀回収 O：コンクリート 固化 P：乾熱減菌 Q：煮沸 R：オートクレーブ S：薬物消毒 T：金属(鉄)回収 U：非鉄金属回収 V：濃縮 W：油化 X：選別 Y：固形燃料化 Z：その他

具体的に

⑬資源化用途コード表

10：鉄鋼原料 20：非鉄金属等原材料 30：燃料 31：木炭 41：飼料 42：肥料 43：土壌改良材 50：土木・建設資材 51：再生木材・合板 60：パルプ・紙原材料 70：ガラス原材料 80：プラスチック原材料 81：再生タイヤ 90：セメント原材料 91：再生油・再生溶剤 92：中和剤 93：コークス炉原料・高炉還元剤・ガス化 98：その他

10～93に該当するものがない場合、⑬の枠中に具体的な用途を直接記入してください。